

II 研究概要

1 研究主題

夢や希望をもち、よりよく生きようとする心を育てる道徳教育 —生徒が主役となる道徳科の授業改善を中心に—

2 研究主題設定にあたって

本校の学校教育目標は、「夢をかたり 汗をかき 絆をつむぐ」である。その実現に向けての重点目標の一つである「豊かな心や感性を育む」を達成するために、「道徳科の授業を要として、学校教育活動全体を通じて道徳教育に取り組む」としている。また、本校は令和5・6年度の2年間、和歌山県教育委員会による「和歌山県よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進事業」に取り組むことになった。

本校では日頃、全教員がそれぞれの担当学年において、担任・副担任に関わらず道徳科の授業を交代で行っている。生徒は真面目に道徳科の授業に取り組んでいるが、「授業者が話しすぎて、生徒の発言を十分に引き出せていない」、「発達段階に応じた目標を達成するための議論が作り出せていない」など、道徳科の授業研究に不十分さを感じている。

そこで、令和5年5月より研究主題を「生徒が主役となる道徳科の授業研究」として研究を始めた。研究を進めていく中で、道徳科の授業だけでなく、学校教育活動全体で行う道徳教育について研究を深め、本校生徒の良さを伸ばしたい、成長させたいという思いを込め、令和5年9月より「夢や希望をもち、よりよく生きようとする心を育てる道徳教育—生徒が主役となる道徳科の授業改善を中心に—」と研究テーマを再設定し、道徳科の趣旨・内容を踏まえた指導方法の工夫改善及び、学校教育活動全体における道徳教育の在り方について研究を深めている。

3 研究課題

(1) 道徳的価値を深める道徳科の授業及び、指導改善の必要性。

生徒が道徳的価値を深めるためには、単に道徳科の授業だけではなく、学校教育活動全体においても取り組む必要がある。

(2) 教科書・道徳読み物教材「希望へのかけはし」を活用した授業の質の向上。

(3) 生徒の実態に応じた道徳教育のカリキュラムマネジメントの課題。

学校や地域の特色を生かした授業計画の改善と、生徒の実態に合わせた教育活動の計画が必要である。これにより、生徒がより自分事として考え、仲間とともに地域の一人としての誇りを持つことにつながると考えられる。

(4) ICTを活用した道徳科の授業実践の研究不足。

今後の研究で、ICTを活用した生徒参加型の授業環境の構築や効果的な活用方法を探求する必要がある。

(5) 生徒の実態を踏まえ、下津第一中学校と下津第二中学校の統合を見据えた道徳教育全体計画等の見直し及び、道徳教育の充実に向けた指導体制の構築。

4 研究の進め方

(1) 道徳研究部を中心とした研究計画、研究内容の企画・立案

校長、教頭、研究主任、道徳主任の4名で構成される「道徳研究部」を立ち上げ、研究組織の核となって研究を推進していく。

(2) 研究部と各学年が連携した道徳教育の充実・研究の推進

道徳科における授業改善に向けた研究と下津第二中学校における道徳科の授業改善の視点を重視した研究内容を深める。

(3) 3部会による学校教育活動全体における取り組む意義の見直しと環境整備の充実

道徳教育の研究指定を受けて「研究発表部」「授業研究部」「資料作成部」の3部会を設置し、道徳性を育てるための環境整備の充実を図る。

①研究発表部においては、アンケート作成・考察と研究の方向性を示し、道徳教育の充実を図る。

②授業研究部においては、「学習指導案・公開授業案における様式」についての共通理解を図る。

③資料作成部においては、体験活動の意義を見直し、下津第二中学校の特性を活かした体験活動の充実に取り組む。

(4) 研究授業（年間3回）、公開授業（全教職員）、研究協議の活性化

全教職員の道徳科における指導力を高めるため、研究授業または、1人1授業（プランニングシート）の公開授業を実施し、授業力向上に向けた協議を行い、改善を図る。

(5) 学校教育活動全体における取組の推進

道徳科を要としながら、教育活動全体を通して取り組んでいく必要がある。委員会での活動や教室内や廊下などの掲示物（学級・委員会）の工夫、地域の方や外部講師と連携するなど、生徒の道徳性を養うための体験活動について全教職員で考えていく。

(6) 校内研修の充実

指導主事訪問（年2回）や大学教授の招聘（年2回）を通して、下津第二中学校における道徳教育の研究を深めていく。研修会等に参加した場合は、現職教育で全教職員に成果や課題を共有し、今後の実践に生かしていくようにする。また、学年での交流を通して、授業改善や様々な体験活動の充実を図る。

(7) 道徳アンケートの活用

本研究を通して、生徒達にどのような変容が見られたかを検証するため、道徳アンケートを年間3回実施し、生徒達の変容を考察する。また、教職員にも年間1回のアンケートを実施し、授業実践に対する意識の変容が見られたかも検証する。

(8) 道徳だよりを発行し、保護者に情報発信

各学年で「道徳だより」を発行し、授業の内容項目や生徒の感想などを保護者に伝える。学期の終わりにアンケート協力を依頼し、保護者から見た子どもの様子や変容について評価してもらい、今後の授業改善につなげる。

5 道徳教育全体計画

教育目標
夢をかたり、汗をかき、絆をつむぐ

本年度の重点目標
1 自ら学ぶ力を育て、確かな学力をつける 2 豊かな心や感性を育む 3 健康でたくましい体と心を育てる 4 地域に根差した、信頼される学校づくりを進める

道徳教育の目標
1 自ら正しく判断し、行動しようとする 2 自他の生命、人権、立場を尊重し、豊かな心を持つ 3 人間としての生き方を追及していこうとする態度を身につける

道徳教育指導の重点
1 望ましい生活習慣を身につけ、礼儀の意義を理解し時と場に応じて適切な言動がとれるようにする 2 自主的に正しく判断し、誠実にねばり強く実行してその結果に責任をもつ態度を養う 3 謙虚に自らを顧みると共に、他に学ぶ広い心をもち、協調して共に高めあえるようにする 4 学校や学級、地域社会の一員としての自覚をもち、よりよい学校や地域を築こうとする態度を育てる

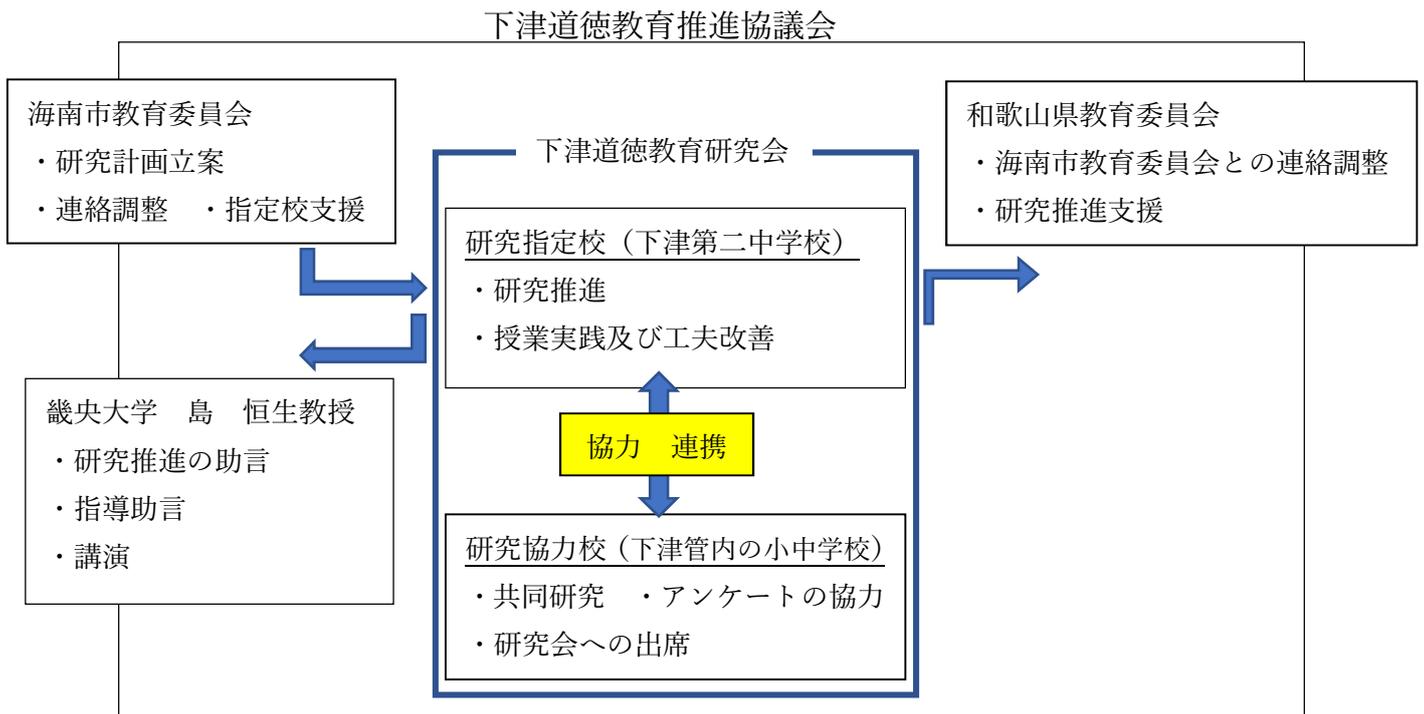
学年別重点目標		
第1学年	第2学年	第3学年
1 中学生としての生活態度を確立する 2 学習習慣を身につけ、学習意欲を高める 3 地域への理解を深め、地域の一員としての自覚を高める 4 仲間を大切にし、みんなで協力する 5 心身の健康の増進を図り、安全な行動をとる	1 自らの行動に責任を持ち、けじめのある生活をする 2 向上心を持って、主体的に学習する 3 自己を見つめ、自己の進路について考える 4 互いを認め、共に支え合う 5 心身の健康の増進を図り、有効な余暇の利用に努める	1 最高学年の自覚を持ち、自律的に行動する 2 自己の適性・能力を知り、進路について考える 3 個人および社会の一員としての自覚を高める 4 社会に対する理解を深め、理想の実現をめざす 5 青年期の心身の健康と特質を知り、安全な行動をとる

教科活動	特別の教科道徳	特別活動	総合的な学習の時間	その他の活動
各教科の目標を推し進めるなかで、人間が生きていくうえで必要な学力を身につけ、自ら学ぶ態度を育てる	よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる	自主的・意欲的かつ協力して問題解決にとりくむことによって道徳的実践を図る	体験的学習や問題解決的な学習を通して、自己の生き方を考え、生きる力を身につけ、道徳的実践を図る	家庭・地域との交流を深めながら、連携して道徳的実践力を培い実践しようとする態度を養う

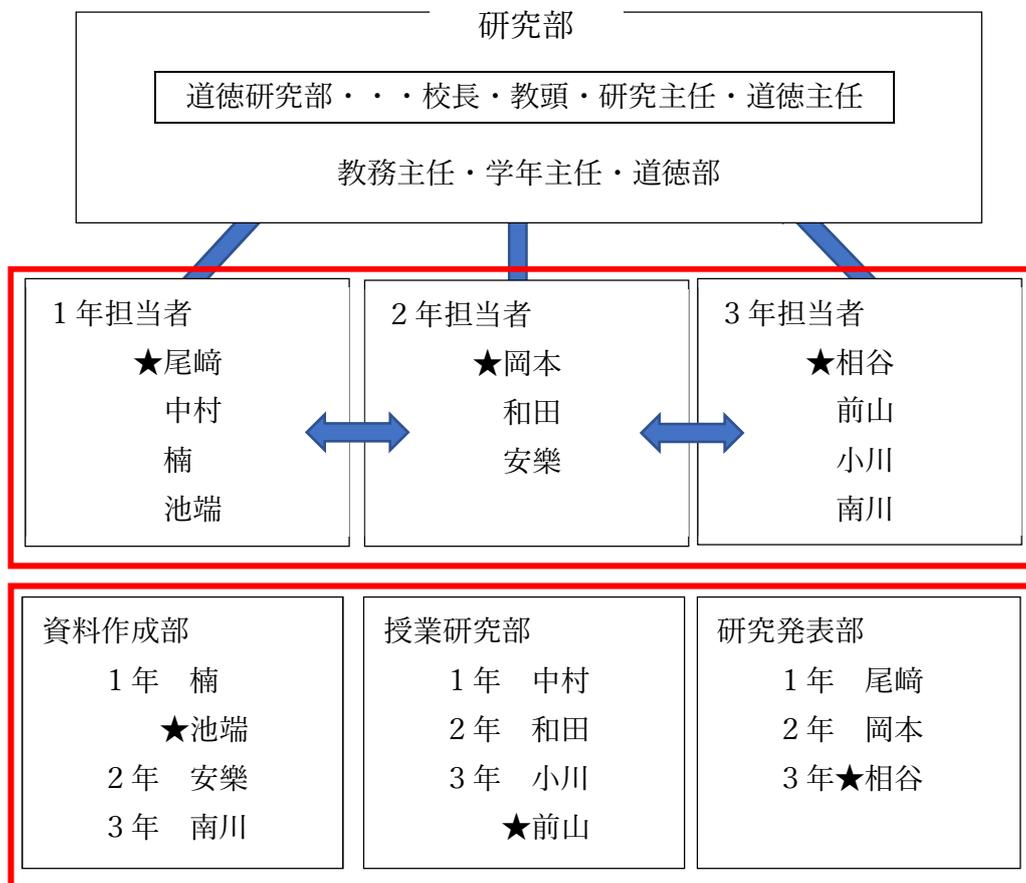
6 研究について

(1) 研究組織

①下津道徳教育推進協議会を設置し、地域一体となり研究を進める。



②校内研究組織を設置し、校内で役割を分担しながら研究を深める。



道徳教育の研究指定を受けて「資料作成部」「授業研究部」「研究発表部」の3部会を設置。

各学年においては、主に授業づくりに焦点を当て研究に取り組んだ。

(2) 道徳年間指導計画

道徳科年間指導計画【1年】(教科書 東京書籍)※希望へのかけはし

月	項目	内容項目	みんなで考える観点	教材
4月	B-(7)	礼儀	あいさつを交わして	朝市の「おはようございます」
	B-(9)	相互理解、寛容	いじめのない世界へ	いじめに当たるのはどれだろう
	C-(12)	社会参加、公共の精神	ボランティア活動に参加して	楽寿号に乗って
5月	A-(1)	自主、自立、自由と責任	いじめのない世界へ	傍観者でいいのか
	C-(11)	公正、公平、社会正義	クラスの生活をよくするために	席替え
	B-(6)	思いやり、感謝	相手のことを思いやり、行動する	※後世の人々に託す -浜口梧陵-
6月	B-(8)	友情、信頼	友達とともに	班での出来事
	A-(2)	節度、節制	安全な生活のために	山に来る資格がない
	B-(8)	友情、信頼	情報モラルと友情	短文投稿サイトに 友達の悪口を書くこと
	D-(19)	生命の尊さ	命を考える	決断! 骨髄バンク移植第一号
7.8月	A-(2)	節度、節制	安全な生活のために	古びた目覚まし時計
	C-(16)	郷土の伝統と文化の尊重、 郷土を愛する態度	ふるさとのために	ぼくのふるさと
	A-(1)	自主、自立、自由と責任	町をつくるもの	※町内会デビュー
9月	C-(10)	遵法精神、公德心	権利と義務を考えて	選手に選ばれて
	C-(11)	公正、公平、社会正義	いじめを許さない心	※今しかない
	D-(19)	生命の尊さ	命を考える	あなたはひかり
	C-(15)	よりよい学校生活、 集団生活の充実	よりよいクラス活動を目指して	全校一を目指して
10月	C-(12)	社会参加、公共の精神	公共の精神とは	本が泣いています
	D-(22)	よりよく生きる喜び	心の弱さを乗り越えるために	※銀色のシャープペンシル
	A-(4)	希望と勇気、克己と強い意志	挑戦し続けること	風を感じて -村上清加のチャレンジ-
	A-(3)	向上心、個性の伸長	自分とのつきあい方を考えよう	自分の性格が大嫌い!
11月	C-(10)	遵法精神、公德心	だれもが気持ちよく過ごせる 社会を目指して	ごみ箱をもっと増やして
	A-(5)	真理の探究、創造	新しいものを生み出すときに	「どうせ無理」という 言葉に負けない
	B-(6)	思いやり・感謝	親を敬う心	※父母状
	D-(19)	生命の尊さ	命を考える	いのちって何だろう
12月	C-(13)	勤労	働くってどんなこと?	新しいプライド
	C-(13)	勤労	いきいきとかがやいて	「看護する」仕事
1月	C-(16)	郷土の伝統と文化の尊重、 郷土を愛する態度	心に郷土を刻もう	郷土を彫る
	D-(21)	感動、畏敬の念	自然の力と向き合って	火の島
	C-(14)	家族愛、家庭生活の充実	家族の幸せのために	靴
2月	C-(18)	国際理解、国際貢献	世界の人々とともに	山岳民族の文化を守る
	D-(22)	よりよく生きる喜び	生きることの素晴らしさを感じて	花に寄せて
	B-(9)	相互理解、寛容	人の気持ちが分かる人間を目指して	落語が教えてくれること
3月	D-(20)	自然愛護	自然とのつながりを考えよう	桜に集う人の思い
	C-(17)	我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度	日本の伝統と文化にふれて	古都の雅、菓子的心

【2年】(教科書 東京書籍)※希望へのかけはし

月	項目	内容項目	みんなで考える観点	教材
4月	B-(7)	礼儀	良好な関係を目指して	あいさつ
	C-(12)	社会参画、公共の精神	よりよい社会を目指して	住みよい社会に
	C-(13)	勤労	仕事を選ぶとき	宇宙人
5月	C-(13)	勤労	勤労から得られるものとは	我、ここに生きる
	A-(2)	節度、節制	安全につながる日常の大切さ	田老の生徒が伝えたもの
	A-(1)	自主、自立、自由と責任	いじめのない世界へ	あの子のランドセル
6月	B-(8)	友情、信頼	情報モラルと友情	ゴール
	C-(10)	遵法精神、公德心	よりよい社会のために	宝塚方面行きー西宮北口駅ー
	B-(9)	相互理解、寛容	おおらかな気持ちで	注文を間違える料理店
	B-(6)	思いやり、感謝	国境をこえて	※つなぐ思いーエルトゥールル号ー
7.8月	C-(16)	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土の魅力にふれて	祭りの夜
	A-(2)	節度、節制	気持ちを整えて	白ご飯を目指してー萩野公介ー
	D-(21)	感動、畏敬の念	敬意をもって自然と接する	夜は人間以外のものの時間
9月	B-(8)	友情、信頼	本当の友情とは	みんなでとんだ!
	C-(12)	社会参画、公共の精神	たがいに支え合う社会	今度は私の番だ
	C-(11)	公正、公平、社会正義	いじめのない世界へ	私のせいじゃない
	C-(10)	遵法精神、公德心	良心に耳を傾ける	※闇の中の炎
10月	C-(10)	遵法精神、公德心	正しい判断とは	「いいね」のために?
	A-(4)	希望と勇気、克己と強い意志	あきらめない気持ちで	左手でつかんだ音楽
	A-(3)	向上心、個性の伸長	「今」をいる私のために	私は十四歳
	B-(9)	相互理解、寛容	過ちを受け入れる心(情報モラル)	※はじめての練習試合
11月	C-(15)	よりよい学校生活、集団生活の充実	誇りを胸に	四十七年に感謝をこめて
	D-(19)	生命の尊さ	いのちを考える	妹に
	D-(19)	生命の尊さ	いのちを考える	奇跡の一週間
	B-(8)	友情、信頼	友情の深さ	※嵐の後に
12月	A-(1)	自主、自立、自由と責任	誠意をもって	金語楼さんのこと
	D-(22)	よりよく生きる喜び	自分を信じて生きるとは	本当の私
1月	D-(22)	よりよく生きる喜び	自分を信じて生きるとは	自分を信じて生きるとは…
	C-(17)	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	伝統文化を継承し発展させていくために	書道パフォーマンスの挑戦
	B-(6)	思いやり、感謝	気持ちをこめて	心に寄りそう
2月	C-(18)	国際理解、国際貢献	垣根をこえて	六千人の命のビザ
	B-(6)	思いやり、感謝	支え合いの中で	愛
	D-(20)	自然愛護	自然環境に優しく	冬の使者「マガン」
3月	C-(14)	家族愛、家庭生活の充実	思いを形に	ごめんね、おばあちゃん
	A-(5)	真理の探究、創造	高い志をもつ	※よりよいものを求めてー上山英一郎ー

【3年】(教科書 東京書籍) ※希望へのかけはし

月	項目	内容項目	みんなで考える観点	教材
4月	D-(22)	よりよく生きる喜び	信頼を貫いて生きる	背番号15が歩んだ道 -黒田博樹-
	A-(1)	自主、自立、自由と責任	いじめのない世界へ	スイッチ
	B-(7)	礼儀	言葉にそえて	言葉おしめ
5月	C-(11)	公正、公平、社会正義	いじめのない世界へ	無実の罪
	A-(1)	自主、自立、自由と責任	いじめのない世界へ	ある日の午後から
	C-(10)	遵法精神、公德心	次世代のいない手として	缶コーヒー
6月	C-(11)	公正、公平、社会正義	いじめのない世界へ	いじめから目をそむけない
	B-(9)	相互理解、寛容	価値をめぐって	しあわせ
	A-(2)	節度、節制	自分の生活を見直して	スマホに夢中!
	C-(13)	勤労	将来の自分を見つめて	好きな仕事が安定かなやんでいる
7.8月	C-(14)	家族愛、家庭生活の充実	家族の支えがあるから...	背筋を伸ばして
	A-(2)	節度、節制	日々を見つめて	早朝ドリブル
	C-(10)	遵法精神、公德心	規則の意義とは	二通の手紙
9月	C-(12)	社会参画、公共の精神	寄りそう中で	加山さんの願い
	C-(15)	よりよい学校生活、 集団生活の充実	伝統を創るもの	受けつがれる思い
	A-(4)	希望と勇気、克己と強い意志	より高い目標を目指して	高く遠い夢
	D-(19)	生命の尊さ	いのちを考える	生まれてきてくれて、ありがとう -助産師からのメッセージ-
10月	D-(19)	生命の尊さ	いのちを考える	人間のいのちとは -人間の命の尊さ、大切さを考える-
	D-(19)	生命の尊さ	大切にしたいもの	医学を極める-華岡青洲-
	D-(19)	生命の尊さ	いのちを考える	くちびるに歌をもて
	B-(6)	思いやり、感謝	周りの人に支えられて	埴生の宿
11月	D-(20)	自然愛護	恩恵に感謝して	よみがえれ、日本海!
	B-(6)	思いやり、感謝	身にしみる温かい思い	帰郷
	D-(19)	生命の尊さ	いのちを考える	たとえぼくに明日はなくとも
	C-(17)	我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度	日本人として	日本人々に勇気と自信を -フレッド・和田 勇-
12月	D-(22)	よりよく生きる喜び	生きる喜び	「マザー・テレサ」から 学んだこと
	C-(16)	郷土の伝統と文化の尊重、 郷土を愛する態度	郷土に息づく心につれて	島唄の心を伝えたい
1月	C-(10)	遵法精神、公德心	公共のために尽くす	鳩が飛び立つ日-石井筆子-
	A-(5)	真理の探究、創造	強く生きていくために	日本から世界へ、そして宇宙へ -インスタントラーメンの誕生-
2月	C-(18)	国際理解、国際貢献	その子の世界、私の世界	その子の世界、私の世界
	D-(21)	感動、畏敬の念	働くことの喜びとは	ハッチを開けて、知らない世界へ
	B-(8)	友情、信頼	情報モラルと友情	合格通知
	A-(3)	向上心、個性の伸長	自ら社会参画を	ぼくにもこんな「よいところ」 がある
3月	D-(22)	よりよく生きる喜び	弱さと向き合って	足袋の季節

(3) 授業研究部における取組

① 基本的な授業の流れについて

道徳科の授業を進めるにあたり、令和5年度と令和6年度に愛知県みよし市の先進校視察を計5回行った。本校で伝達講習会と現職教育でさまざまな話し合いを行った。一貫性のある授業づくりの考え方について共通理解し、授業実践に取り組んできた。



フォームズの活用例



ICTを活用した心情円例

ア 導入について

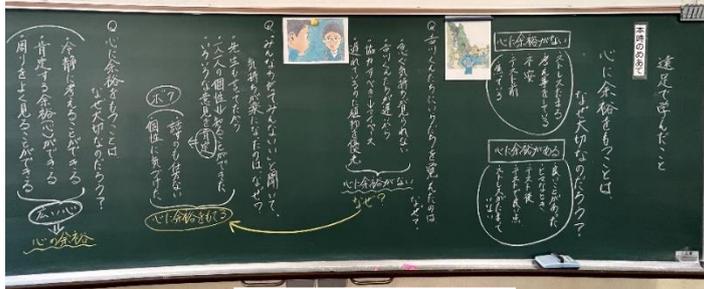
- ・本時の学習内容の理解と道徳的価値の位置づけをする。
- ・教材への導入。
- ・ICTを活用し、教材の内容を確認する。
→ デジタル教科書、ロイロノート、ポジショニング、フォームズなどの活用。

イ めあてについて

- ・めあての確認を行い、めあてに対する導入時での考え (before) を出させ、板書に書き残しておく。
- ・振り返りと同じ発問となるため、道徳的価値レベルに迫ることができるめあてを提示する。
- ・ねらいを理解し、道筋を立てて振り返りの時間までの流れを一本化する。
- ・議論が深まってきたときの着地点を明確に把握しておく。

ウ 範読について

- ・考えをより深める時間を確保するため、朝の読書の時間を利用するときもある。
- ・授業時間の確保のため、導入部分ではICTを活用し、教材の内容に触れる。

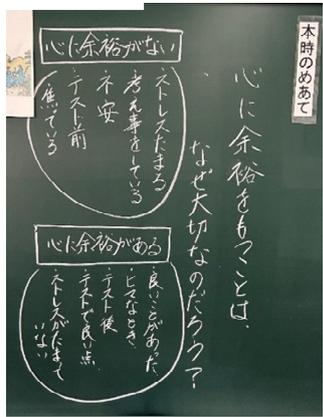


板書全体

エ 発問について

- ・授業開始後、20分前後までには中心発問を提示する。
- ・中心発問を行うまでの基本発問は、教材の読み取りにならないように留意する。
- ・より考えさせ、議論することができる発問となるよう工夫する。
- ・発達段階に応じた目標を設定し、それを達成するために議論し、道徳的価値に迫れるようにする。
- ・発問に必然性を持たせ、授業の流れやつながりを大切にする。
- ・問い返し、待つという姿勢、生徒と生徒をつなぐ、楽しく考え合う雰囲気を大切にする。

学びを深めるためのキーワードを生徒の発言の中から見つけ、生徒の中に疑問がうまれるように工夫する。そうすることで、話し合いがより深まり、生徒全員が考えるようにする。

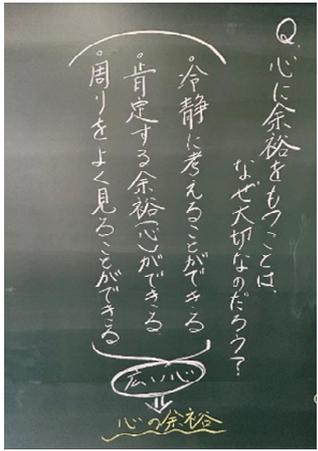


(before)

オ 振り返りについて

- ・めあてと同様の発問を行う。
- ・授業開始時 (before) と授業終了時 (after) が理解しやすいように板書を工夫する。
- ・教材の登場人物の理解や内容の読み取りにならないように、考えなければならない内容をおさえる。

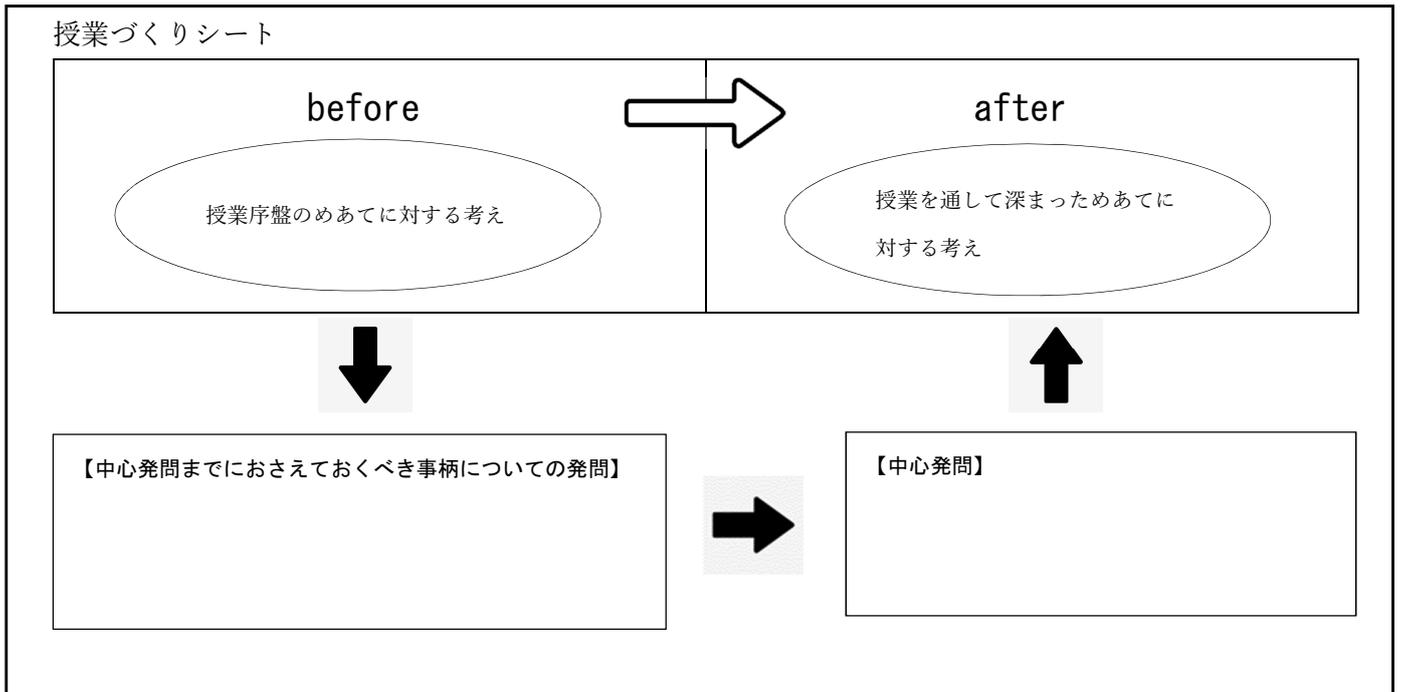
中学生では、行動の仕方や人として大切なものが十分に理解できている。しかし、自身の行動が誤った方向に向かうときがある。その内面的な部分に迫り、考えることができるようにする。



(after)

② 授業づくりシートの活用

道徳科の学習指導案を作成する前段階として、生徒の学びの姿を具体的にイメージするために、「授業づくりシート」を取り入れている。ここでは、生徒たちから新しい気づきや学びとして、どのような発言や振り返りの記述等が表れたら、ねらいに迫っているといえるのか想定する。そして、before（授業序盤のめあてに対する考え）から after（授業を通して深まっためあてに対する考え）へ生徒たちの意見・考えの変容が見られるように、逆算的に中心発問や補助発問を設定することを意識する。授業を通して生徒たちに気づかせたい道徳的価値を教師がより明確にするための一助としている。



6 本時の展開

	学習活動 (○発問 ◎中心発問 ☆補助発問・予想される生徒の反応)	指導上の留意点 (◇評価)
導入 ○分	ねらいとする道徳的価値への方向付け 内容項目に関する発問	○教材への導入 ○道徳的価値への導入
展開 ○分	<p>めあて</p> <p>めあてに対する現時点での考え (before) を出させる。</p> <p>発問とセットで生徒の反応を想定して記述しておく。 生徒の言葉でねらいとする道徳的価値に迫れるようにする。</p> <p>↓</p> <p>中心発問で深めたことを使って振り返りを書けるように、授業を通して深まっためあてに対する考え (after) を板書に残す。</p>	<p>○ ねらいに導く基本的な発問</p> <p>◎ 道徳的価値に迫る発問 (中心発問)</p> <p>☆ 生徒の考えを揺さぶり、考えに広がりや深まりをもたせる発問</p> <p>☆ 生徒の発言を一旦受け入れてから問い返し、生徒の発言がさらに深く醸成されることを意図して行う発問など</p> <p>○ 導入時の発問を展開の最後に再度発問し、生徒自身で考えの変容に気づかせる</p>
終末 ○分	めあてに戻り、中心発問で深めたことを使って振り返りを書けるようにする。道徳的価値に迫り、自分ごととして振り返りにつなげる。	

7 評価について

8 板書計画

- ・ 教材名
- ・ めあて
- ・ めあてに対する現時点での考え (before)
- ・ 各発問に対する児童の考え→心の揺れや葛藤が見えるようにする
- ・ 授業を通して深まっためあてに対する考え (after)

道徳科学習指導案

令和6年11月20日(水) 第5校時

指導者 中村 宗稔

1 学 年 1年A組(男子21名 女子14名 計35名)

2 主題名 「だれもが気持ちよく過ごせる社会を目指して」

3 教材名 「ごみ箱をもっと増やして」(新訂 新しい道徳1 東京書籍)

4 ねらい

誰もがもっている「ばれなければちょっとくらいいいか」「自分には関係ない」という考えに流されてしまう弱い心を理解しつつも、ごみ箱の有無に関わらず、一人一人が自分たちの社会は自分たちでよくしていくという意識を持つことで、誰もが気持ちよく過ごすことのできるより良い社会が実現されることを知り、日々公德心を持って生活しようとする態度を育てる。

5 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本教材は、内容項目C「主として集団や社会との関わりに関すること」の(10)「遵法精神、公德心」に該当するものである。公德心とは、社会の中で守るべき正しい行いを大切にしようとする気持ちである。ごみのポイ捨てという公德心を試される教材だからこそ、そこに存在する「ばれなければちょっとくらいいいか」「自分には関係ない」という弱い心を一人一人が乗り越えることで、誰もが気持ちよく過ごすことのできるより良い社会が実現されることを知り、その義務を果たすことで、より良い社会に生きる権利が存在している。

(2) 生徒の実態について

1年生の生徒たちは、素直で元気よく、男女共に仲が良かったため、グループの活動では周りの友達としっかり意見交換ができる集団である。物静かな生徒もいるが、一人一人がしっかりと自分の考えをもっており、進んで発表はしないものの、ワークシートに文章として表現することができる。

本学級には、公德心を持ち、規範意識を持って学校生活を送れている生徒もいれば、授業後の机上にたまった消しかすをそのまま手で払って床に落としているような公德心に欠けた行動をとる生徒も見受けられ、「まあいいか」「自分さえよければ」や「自分には関係ない」「誰かがやってくれる」という弱い心を乗り越えきれない部分がある。そのような、誰もがもっている思いや弱さを理解しつつも、一人一人が社会のルールやきまりに目を向け、よりよい社会をつくっていくために自分がどうあるべきかを考える姿が大切であると気付かせたい。

(3) 教材について

本教材は、とある新聞への投稿と、それに対する3つの意見で構成されている。投稿者が短期留学で行った米国にはごみ箱が多かったが、日本には少なく不便に感じている。ごみを持ち帰る啓発ポスターも目にするが、草むらなど人目につかない所には、ごみがポイ捨てされている。このことから、「街にごみ箱をもっと増やしたほうがよいのではないか。」と投稿者は思っている。この投書に対して、観光名所や公園には設置してほしい、ごみ箱の完全撤去を望む、環境を守るためにごみは持ち帰ろう、という意見が寄せられた。これらの意見を通して、一人一人が社会のルールやきまりに目を向け、よりよい社会をつくっていくために自分がどうあるべきかを考えることができる教材である。

6 本時の展開

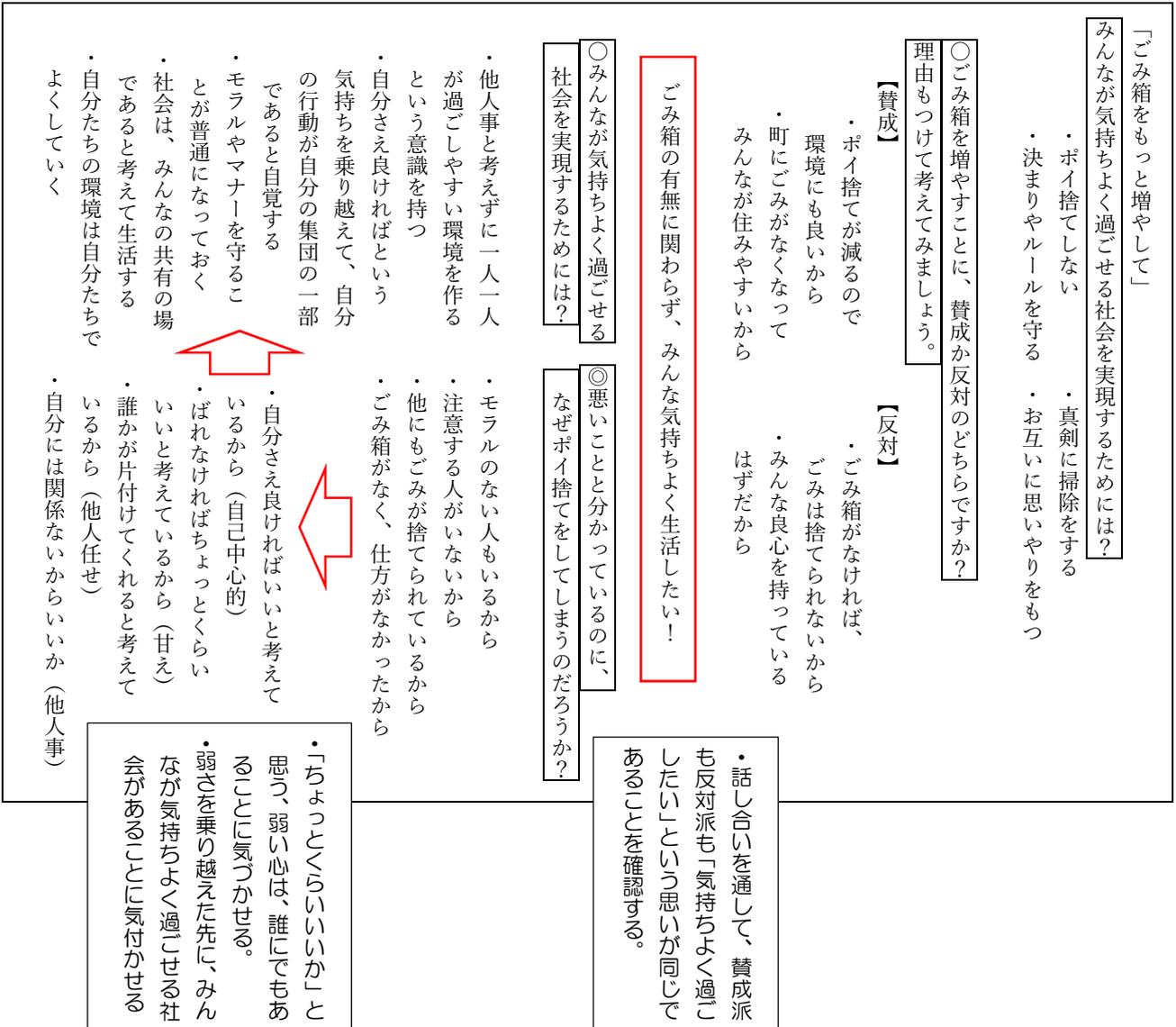
	学習活動 (○発問 ◎中心発問 ☆補助発問・予想される生徒の反応)	指導上の留意点 (◇評価)
導入 5分	<p>1. みんなが気持ちよく過ごせる社会を実現するためにはどうすればよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てしない ・お互いに思いやりを持つ ・真剣に掃除をする ・決まりやルールを守る <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">○みんなが気持ちよく過ごせる社会を実現するためには？</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・数名を指名する (全体で共有)
展開 40分	<p>2. 内容を確認しながら、教材について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">○ごみ箱を増やすことに、賛成か反対のどちらですか？理由もつけて考えてみましょう。</div> <p>【ごみ箱を増やすことに“賛成”】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てが減って、環境にもいいから ・ごみ箱があれば、ポイ捨てをすることもないから <p>【ごみ箱を増やすことに“反対”】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ箱がなければ、ごみは捨てられないから ・みんな良心を持っているはずだから <p>☆ごみを捨てたいとき、ごみ箱なかったら探すのめんどくさくない？</p> <p>☆多く設置したら、だれがどのようにそのごみを処理するのだろう？</p> <p>☆絶対にどっちが良いって決めきれないかな？</p> <p>☆賛成・反対、どちらの人にも共通する気持ちはあるかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみのポイ捨ては、絶対にしてはいけない ・ごみ箱の有無に関わらず、みんな気持ちよく過ごしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターを活用し、ロイロノートで手短かに内容を確認する ・全体での意見交流を行う ・自分の言葉で発表できるように教材は裏向けさせ、できるだけワークシートは見ずに発表させる。 ・賛成派・反対派のどちらにも「ごみ箱の有無に関わらず、み

	<p>◎投書のように、モラルに任せるという姿勢では限界があるのだろうか。悪いことと分かっているのに、なぜポイ捨てをしてしまうのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モラルのない人もいるから ・注意する人がいないから ・他にもごみが捨てられているから ・近くにごみ箱がなく、仕方がなかったから <p>【深めていく】</p> <p>☆「絶対にごみを捨ててやろう」という悪意を持って捨てているのだろうか？</p> <p>☆ポイ捨てをする人って、どんな気持ちでポイ捨てしてるんだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分さえ良ければいいと考えている（自己中心的） ・ばれなければちょっとくらいいいと考えている（甘え） ・誰かが片付けてくれると考えている（他人任せ） ・自分には関係ないからいいか（他人事） <p>3. みんなが気持ちよく過ごせる社会を実現するためにはどうすればよいか考える。</p> <p>○みんなが気持ちよく過ごせる社会を実現するためには？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モラルやマナーを守ることが普通になっておく ・社会は、みんなの共有の場であると考えて生活する ・自分たちの環境は自分たちでよくしていく ・他人事と考えずに、一人一人が過ごしやすい環境を作るという意識を持つ ・自分さえ良ければという気持ちを乗り越えて、自分の行動が自分の集団の一部であると自覚する 	<p>んな気持ちよく生活したい」という気持ちは共通しているということをおさえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体でわいわいがやがや交流できる雰囲気作りに努める。 <p>◇弱さを理解し、一人一人の公德心によって、誰もが気持ちよく過ごすことのできるより良い社会が実現されることを知り、日々公德心を持って生活することが大切だと気付く。</p>
<p>終末 5分</p>	<p>4. 本時のまとめ</p> <p>今日の学習を振り返り、考えたことを書く。</p> <p>今日の道徳と関連した今までの経験を含めて、自分が今まで公德心を持って行動できたと思ったときのことでも思い出して書いてみよう。</p>	

7 評価について

誰もがもっている「ばれなければいいか」「誰もみていないからいいか」「自分には関係ないから」という考えに流されてしまう弱い心や、一人一人の公德心によって、誰もが気持ちよく過ごすことのできるより良い社会が実現されることなどについて、自分事として考えている。（発言・ワークシート）

8 板書計画



道徳『ごみ箱をもっと増やして』

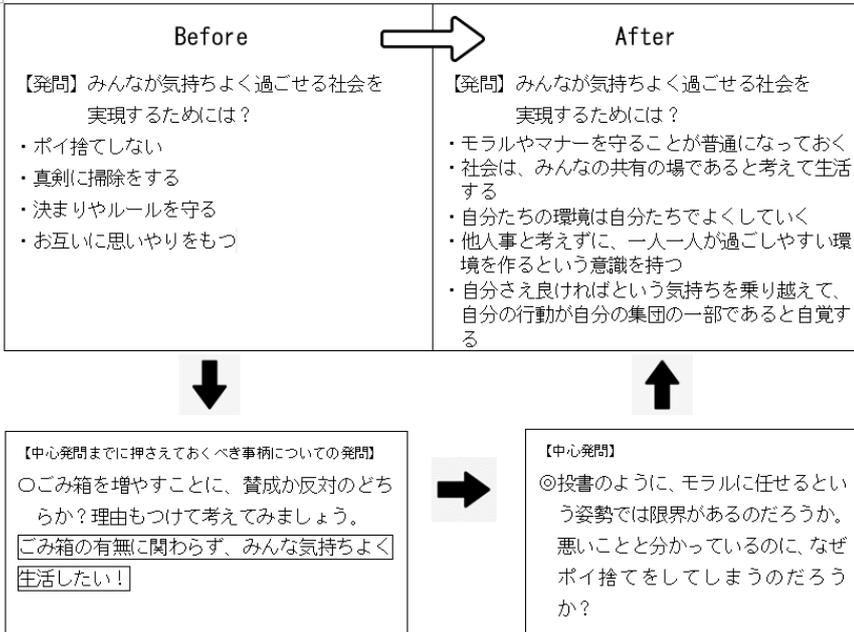
1年A組()番 氏名()

めあて：みんなが気持ちよく過ごせる社会を実現するためには？

賛成 or 反対

◇振り返り(今日の学習で学んだこと、考えたことを書こう)

授業づくりシート



公開授業案(道徳科授業プランニングシート)の作成

公開授業案(道徳科授業プランニングシート)を作成し、日頃から教師同士の授業を参観し、協議を行っている。また、この公開授業案(道徳科授業プランニングシート)を実践の成果として積み重ねることにより、次年度に同じ教材の授業をする際の参考、協議の材料とし、教師の授業力向上につなげている。

- 【道徳的価値をみとるポイント】**
- 生徒が、ねらいに向けて自分事として考えられていたか?
 - 生徒が、多面的・多角的に考えられていたか?
 - 生徒が、自分の生き方につなげて考えられていたか?

道徳科授業プランニングシート

授業日・時限 (令和〇年〇月〇日 (〇) 〇限)

<生徒が主役となる授業>

クラス(〇年〇組) 授業者(〇〇 〇〇)

主題名・内容項目

資料名

ねらい

主題設定の理由(ねらいとする道徳的価値【価値観】、生徒の実態【生徒観】、教材の特質等【教材観】について)

授業展開

	学習活動	評価
導入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ねらいとする道徳的価値への方向付け</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">めあて</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <input type="radio"/> 教材への導入 <input type="radio"/> 道徳的価値への導入 </div>	
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 発問とセットで生徒の反応を想定して記述しておく。 生徒の言葉でねらいとする道徳的価値に迫れるようにする。 </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ ねらいに導く基本的な発問 ◎ 道徳的価値に迫る発問(中心発問) ☆ 生徒の考えを揺さぶり、考えに広がりや深まりをもたせる発問 ☆ 生徒の発言を一旦受け入れてから問い返し、生徒の発言がさらに深く醸成されることを意図して行う発問など ○ 導入時の発問を展開の最後に再度発問し、生徒自身で考えの変容に気づかせる </div>
終末	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> めあてに戻り、中心発問で深めたことを使って振り返りを書けるようにする。道徳的価値に迫り、自分ごととして振り返りにつなげる。 </div>	

道徳科授業プランニングシート

授業日・時限（令和〇年 〇月〇〇日（火） 〇限 ）

<生徒が主役となる授業>

クラス（ 〇年〇組 ） 授業者（ 〇〇〇〇 ）

主題名・内容項目

規則の意義とは・C(10) 遵法精神、公德心

資料名

二通の手紙 ～新訂 新しい道徳3～

ねらい

元さんの行動と思いを考えることを通して、法や規則(ルール)についての意義を理解し、社会の秩序と規律を高めていこうとする意欲を育てる。

主題設定の理由（ねらいとする道徳的価値【価値観】、生徒の実態【生徒観】、教材の特質等【教材観】について）

- ・元さんの姉弟への思いに共感することの大切さと、法や規則により自分たちの安全や生活が守られている側面があることに気づく。【価値観】
- ・学級のみならず、学年全体として穏やかな生徒が多く、校則等もきちんと守り集団としての規律も成立している様子が見られる。男子間、女子間よりも男女間の方が相手を思いやり、仲良くしているようにも感じられる。【生徒観】
- ・規則(ルール)の大切さは分かっている生徒がほとんどであるが、そんな中、元さんの思いや行動を感じながらも、改めて規則(ルール)とは何なのか、何のためにあるのかを考えさせたい。【教材観】

授業展開

	学習活動	評価
導入	<p>規則(ルール)は守るべきかどうかを考える。</p> <p>○規則(ルール)の意義とは何だろう。</p>	
展開	<p>「二通の手紙」を読んで元さんの立場になって考える。</p> <p>○あなたなら、幼い姉弟を動物園に入れますか。</p> <p><input type="checkbox"/> 入れる ・弟の誕生日という特別な日だから。</p> <p><input type="checkbox"/> 入れない ・規則(ルール)で決まっていることだから。</p> <p>選択させ、その理由を書く。</p> <p>○あなたなら、元さんに対する処分に納得できますか。</p> <p><input type="checkbox"/> 納得できる ・同じことを許すと事故が起こるかも。</p> <p><input type="checkbox"/> 納得できない ・姉弟やお母さんのためになったから。</p> <p>選択させ、その理由を書く。</p> <p>◎元さんが晴れ晴れとした顔で職場を去ることができたのはなぜだろう。</p> <p>・自分が行ったことに後悔はないから。・規則を破ったことは事実だから仕方ない。</p>	
終末	<p>○規則(ルール)の意義とは何だろう。</p> <p>授業の振り返りをする。</p>	<p>・規則(ルール)を守ることの意義を考え、今後自分がとるべき行動を深く考えることができている。</p>

④授業交流と教材研究・協議

道徳科の授業において、共通して取り組むこと

本校の道徳授業は、担任だけではなく各学年担当者全員が行っている。そのため、授業を行うにあたり、共通して取り組むことを決めている。

●授業計画（教材研究）段階

- (1) 小学校、中学校の発達段階に適した授業のねらいを設定するため、「学習指導要領解説 特別の教科道徳編」「内容項目ハンドブック」等の内容を踏まえた計画にする。
- (2) 生徒がしっかりと考え、発表し、話し合う時間を確保するため、中心発問は、授業開始20分前後までには提示できるように計画する。

●授業段階

「生徒の生きた発言・発表でねらいに迫る」

- (1) 生徒の発言を「つなぐ言葉」や「促す言葉」を用いて、教員はファシリテーター役に徹する。
- (2) 生きた言葉で発言させるため、生徒が書いたワークシートや教科書は、発言の際には机の中にしまわせる。
- (3) 黒板・ICTを活用して、議論や学びの深まりを可視化する。
- (4) 教室の机をコの字型にして、周りの生徒同士が話し合いやすい教室環境を作る。

相互の授業参観・協議

上記に示した共通項目を踏まえ、各自が授業計画を立てて授業を行う。その際、可能な限り、学年内で授業参観し、意見交流を行うようにした。また、生徒のワークシートも複数の教員が見られるようにしている。

研究授業等の際には指導案検討会を持ち、授業計画を学年担当で意見を交わしながら検討して作り上げるようにしている。



※別表にて別葉作成

(4) 全校における道徳性を育む取組

① 道徳科と教科等との関連(別業) 中学校1学年 年間カリキュラム

※各教科の○内は配当時間案

実施月	道徳 東書	項目/教科	国語	社会(地理)	社会(歴史)	数学	理科	英語	保健体育	技術・家庭(技術)	技術・家庭(家庭)	音楽(一般)	美術	学校行事	特別活動	総合的な学習の時間	
			光村	帝國	東書	啓林	啓林	東書	学研	東書	東書	教芸	日文				
4月	朝市の「おはようございます」	B-(7) 礼儀						「Friends in New Zealand」⑤ 「Let's Talk 1 お願い」① 「Let's Talk 3 道案内」① 「Let's Talk 4 レストラン」①		「5」安全に利用するための情報セキュリティ① 「1」双方向性のあるコンテンツのプログラミングとは何だろうか① 「4」コンテンツのプログラムを制作しよう② 「5」2 「7」問題解決の評価、改善・修正①①							
	いじめに当たるのはどれだろう	B-(9) 相互理解、寛容	「情報を的確に聞き取る」① 「聞き上手になろう」① 「話し合いの展開を図る」① 「話し合いの展開を図る」①④	「第1節 アジア州」⑥ 「第2節 ヨーロッパ州」⑦ 「第3節 アフリカ州」⑧ 「第4節 北アメリカ州」⑨ 「第5節 オセアニア州」⑩	「持続可能な社会の実現に向けて」① 「2」身近な地域の歴史」② 「導入の活動」① 「1」世界の古代文明と宗教のおこり(後半)」③ 「3」地域の歴史を調べよう」⑤ 「導入の活動」①	「3」絶対値と数の大小」② 「1」関数」① 「2」反比例のグラフ」③ 「1」比例、反比例の利用」② 「1」データを活用して、問題を解決しよう」⑥		「Our New Teacher」⑤ 「Let's Listen 1 留学生のプロフィール」① 「Let's Listen 3 ラジオDJのトーク」①						入学式 A-(4) B-(7) 身体測定 A-(2) 授業参観・保護者会 B-(6) B-(7) B-(8) C-(12) C-(15) 避難訓練 A-(2) D-(19) 理科・産科検診 D-(19) 卒業式 A-(4) B-(8) 全校集会 A-(2)	新入生歓迎会 B-(8) 新入生オリエンテーション A-(2) 前期専門委員会儀式 C-(15) 新年度目標の設定 A-(4) 新年度組織の決定 C-(15)	防災学習 O-(19)	
	楽寿号に乗って	C-(12) 社会参画、公共の精神						「Think Globally, Act Locally」⑤	「2」スポーツへの多様な関わり方」① 「3」スポーツの多様な楽しみ方」① 「6」心の発達(1) 知覚機能と情意機能の発達」① 「6」心の発達(2) 社会性の発達」①		「2」木材、金属、プラスチックの特性」① 「5」材料と加工の技術の工夫を読み取る」① 「1」問題を発見し、課題を設定しよう」② 「1」材料と加工の技術の最適化」① 「6」情報の技術の工夫を読み取る」① 「1」双方向性のあるコンテンツのプログラミングとは何だろうか」①	「1」食品の選択と購入」① 「2」生鮮食品の特徴」① 「3」加工食品の特徴」① 「4」食品の保存と食中毒の防止」①			「デザインや工業との出会い」への暮らしを豊かに」① 「文字で伝えよう」①「文字の基本」④ 「暮らしに息づく土の造形」①「焼き物をつくる」⑥		
5月	傍観者でいいのか	A-(1) 自主、自律、自由と責任	「少年の日の思い出」⑥		「地域の歴史を調べよう」⑥	「1」方程式の利用」⑤ 「1」比例の式」② 「3」図形の移動と基本の作図の利用」① 「字ひを身につけよう」①		「Let's Read 1 Let's Climb Mt. Fuji」②	「5」心の発達(1) 知覚機能と情意機能の発達」① 「7」自己形成」① 「8」欲求不満やストレスへの対処」②		「1」問題を発見し、課題を設定しよう」②	「1」食品の選択と購入」① 「2」生鮮食品の特徴」① 「3」加工食品の特徴」① 「4」食品の保存と食中毒の防止」①					
	席替え	C-(11) 公正、公平、社会正義			「1」節 武士の政權の成立」⑤	「3」絶対値と数の大小」② 「2」方程式の解き方」④				「5」安全に利用するための情報セキュリティ」①		「画の構成を感じ取って、歌謡表現を工夫しよう」② 「主人は冷たい土の中に」		教育相談 A-(3) 1年校外学習 B-(8) C-(15) 2年職場体験 C-(3) C-(4) 3年修学旅行 A-(1) B-(8) C-(15) 内科・耳鼻科検診 D-(19) 1学期中間考査 A-(4) 全校集会 A-(2)	自分の個性を生きる A-(3) 校外学習の準備・計画 C-(15) 学校図書館の利用 A-(5)	防災学習 O-(19)	
	後世の人々に託す一瀆口情懷	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	「稽古に眼和する仮名(いろは歌)」②【書写】	「1」節 歴史をどう考えるか」④ 「2」節 身近な地域の歴史」② 「導入の活動」① 「2」節 日本列島の誕生と大陸との交流」③ 「3」地域の歴史を調べよう」⑥ 「基礎・基本のまとめ」② 「1」節 武士の政權の成立」⑤				「A Japanese Summer Festival」⑤					「日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう」⑥ 「日本の民謡」『生活や社会の中の音楽』『アジアの諸民族の音楽』『ソーラン節』 「日本の歌のよさや美しさをと感じ取って、歌謡表現を工夫しよう」③ 『浜辺の歌(共通教材)』『赤とんぼ(共通教材)』『歌い				
6月	班での出来事	B-(8) 友情、信頼	「シンジュン」④ 「星の花が降るころに」⑤					「New School, New Friends」⑥ 「A Surprise Party」⑥	「4」性とう向き合うか」①								
	山に来る資格がない	A-(2) 節度、節制					「3」章 水溶液の性質」⑥	「Let's Talk 2 体罰」①	「1」健康の成り立ち」① 「3」食生活と健康」① 「4」休養・睡眠と健康」① 「6」もっと広げる深める」眼和のとれた生活」① 「6」もっと広げる深める」心と体のSOS」	「3」材料に適した加工方法」① 「3」製作の計画を立てよう」③ 「4」作業手順を考えて制作しよう」③ 「5」問題解決の評価、改善・修正」③ 「1」専法の技術とは何だろうか」① 「2」情報のデジタル化」① 「3」情報通信ネットワークの仕組み」④ 「安全に利用するための」①	「家庭分野のガイダンス」② 「2」私たちの食生活」① 「2」何をどのくらい食べればよいか」② 「3」バランスの良い献立作り」③ 「3」バランスの良い献立作り」③			スポートテスト A-(2) A-(3) 1学期期末考査 A-(4) 全校集会 A-(2)	健康で安全な生活 A-(2)	防災学習 O-(19)	
	短文投稿サイトに友達の手紙を書くと	B-(8) 友情、信頼	「シンジュン」④ 「星の花が降るころに」⑤					「New School, New Friends」⑥ 「A Surprise Party」⑥	「4」性とう向き合うか」①								
	決断！骨髄バンク移植第一号	D-(19) 生命の尊さ	「大人になれなかった僕たちに……」④				「自然の中にあふれる生命」⑤ 「2」章 動物の特徴と分類」⑤		「6」もっと広げる深める」眼和のとれた生活」① 「3」生体機能の成熟」②	「4」作業手順を考えて制作しよう」③ 「1」どうして食事をするのだろうか」① 「3」栄養素ってなんだろう」① 「4」中学生に必要な栄養」① 「1」食品に含まれる栄養素」② 「2」何をどのくらい食べればよいか」② 「4」食品の保存と食中毒の防止」① 「1」日常食の調理」② 「2」野菜・いも調理」②							
7.8月	古びた目覚まし時計	A-(2) 節度、節制					「3」章 水溶液の性質」⑥	「Let's Talk 2 体罰」①	「1」健康の成り立ち」① 「3」食生活と健康」① 「4」休養・睡眠と健康」① 「6」もっと広げる深める」眼和のとれた生活」① 「6」もっと広げる深める」心と体のSOS」	「3」材料に適した加工方法」① 「3」製作の計画を立てよう」③ 「4」作業手順を考えて制作しよう」③ 「5」問題解決の評価、改善・修正」③ 「1」専法の技術とは何だろうか」① 「2」情報のデジタル化」① 「3」情報通信ネットワークの仕組み」④ 「安全に利用するための」①	「家庭分野のガイダンス」② 「2」私たちの食生活」① 「2」何をどのくらい食べればよいか」② 「3」バランスの良い献立作り」③ 「3」バランスの良い献立作り」③						
	ほくのふるさと	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	「稽古に眼和する仮名(いろは歌)」②【書写】	「1」節 歴史をどう考えるか」④ 「2」節 身近な地域の歴史」② 「導入の活動」① 「2」節 日本列島の誕生と大陸との交流」③ 「3」地域の歴史を調べよう」⑥ 「基礎・基本のまとめ」② 「1」節 武士の政權の成立」⑤			「A Japanese Summer Festival」⑤					「日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう」⑥ 「日本の民謡」『生活や社会の中の音楽』『アジアの諸民族の音楽』『ソーラン節』 「日本の歌のよさや美しさをと感じ取って、歌謡表現を工夫しよう」③ 『浜辺の歌(共通教材)』『赤とんぼ(共通教材)』『歌い					
	町内会デビュー	A-(1) 自主、自律、自由と責任	「少年の日の思い出」⑥		「地域の歴史を調べよう」⑥	「1」方程式の利用」⑤ 「1」比例の式」② 「3」図形の移動と基本の作図の利用」① 「字ひを身につけよう」①		「Let's Read 1 Let's Climb Mt. Fuji」②	「6」心の発達(1) 知覚機能と情意機能の発達」① 「7」自己形成」① 「8」欲求不満やストレスへの対処」②		「1」問題を発見し、課題を設定しよう」②	「1」食品の選択と購入」① 「2」生鮮食品の特徴」① 「3」加工食品の特徴」① 「4」食品の保存と食中毒の防止」①					
9月	選手に選ばれて	C-(10) 遵法精神、公徳心			「3」節 古代国家の争いと東アジア世界」⑧	「4」数の世界のひろがり」② 「2」文字式の表し方」③ 「3」式の解」② 「3」関係を表す式」③ 「2」方程式の解き方」④ 「3」比例のグラフ」① 「1」意味と図形」③ 「1」図形の移動」③				「5」安全に利用するための情報セキュリティ」① 「5」問題解決の評価、改善・修正」①							
	今しかない	C-(11) 公正、公平、社会正義			「1」節 武士の政權の成立」⑤	「3」絶対値と数の大小」② 「2」方程式の解き方」④				「5」安全に利用するための情報セキュリティ」①		「画の構成を感じ取って、歌謡表現を工夫しよう」② 「主人は冷たい土の中に」					
	あなたはひかり	D-(19) 生命の尊さ	「大人になれなかった僕たちに……」④				「自然の中にあふれる生命」⑤ 「2」章 動物の特徴と分類」⑤		「6」もっと広げる深める」眼和のとれた生活」① 「3」生体機能の成熟」②	「4」作業手順を考えて制作しよう」③ 「1」どうして食事をするのだろうか」① 「3」栄養素ってなんだろう」① 「4」中学生に必要な栄養」① 「1」食品に含まれる栄養素」② 「2」何をどのくらい食べればよいか」② 「4」食品の保存と食中毒の防止」① 「1」日常食の調理」② 「2」野菜・いも調理」②							
	全校一を目指して	C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実						「This Year's Memories」⑥ 「Stage Activity 3 My Favorite Event This Year」②	「6」心の発達(2) 社会性の発達」①						専任作業 C-(12) C-(15) 体育祭 A-(2) A-(4) C-(10) C-(15) 全校集会 A-(2)	中央(専門)委員会 C-(15)	地域課 C-(16) 人権学習に向けて A-(3) C-(14)

(4) 全校における道徳性を育む取組

① 道徳科と教科等との関連(別葉) 中学校1学年 年間カリキュラム

※各教科の○内は配当時間案

Table with columns: 実施月, 道徳, 項目/教科, 国語, 社会(地理), 社会(歴史), 数学, 理科, 英語, 保健体育, 技術・家庭(技術), 技術・家庭(家庭), 音楽(一般), 美術, 学校行事, 特別活動, 総合的な学習の時間. Rows include activities like '本が泣いています', '銀色のシャープペンシル', '風を感じてー村上清加のチャレンジー', etc.

中学校2学年 年間カリキュラム

※各教科の○内は配当時間案

実施月	道徳		項目/教科	国語	社会(地理)	社会(歴史)	数学	理科	英語	保健体育	技術・家庭(技術)	技術・家庭(家庭)	音楽(一般)	音楽(器楽)	美術	学校行事	特別活動	総合的な 学習の時間		
	東書			光村	帝国	東書	啓林	啓林	東書	学研	東書	東書	教芸	教芸	日文					
4月	あいさつ		B-(7) 礼儀	「アイズプラネット」⑤ 「説明のしかたを工夫する」① 「気持ち込めて書く」④ 「話し合って考えを広げよう」⑤	「身近な地域の調査」⑤				UIFA Friend in a Sister School」⑧ Daily Scene1② U2「A Trip to the UK」⑧ Daily Scene2② U3「Career Day」⑧ Daily Scene3② Presentation「将来の夢」④ U3「Career Day」⑧			「小物作り」 ・幼児の生活と遊び								
	住みよい社会に		C-(12) 社会参画、公共の精神	「魅力的な提案をしよう」⑤ 「小さな町のラジオ発」①																
	宇宙人		C-(13) 勤労	「多様な方法で情報を集めよう」⑥																
5月	我、ここに生きる		C-(13) 勤労	「多様な方法で情報を集めよう」⑥																
	田老の生徒が伝えたもの		A-(2) 節度、節制	「要点を整理して聞き取る」① 「敬語」①					U4「Homestay in the United States」⑧ U5「Universal Design」⑧ U7「The Movie Dolphin Tale」⑧	【保健編】2健康と環境⑦ 1 環境の変化と適応能力① 【保健編】2健康と環境⑦ 2 活動に適した環境① 【保健編】2健康と環境⑦ 3 室内の空気の状態① 【保健編】2健康と環境⑦ 4 水の浄化と排水の処理①	③ 生物育成①② ③ 生物を育てるための計画と管理③(リフレタス) ② エネルギー変換②③ ① エネルギーの変換と利用②③	① 私たちの食生活⑤⑥③ 調理と食文化②②・日常食の調理 ① 私たちの食生活⑤⑥③ 調理と食文化②② ② 私たちの衣生活と住生活⑤⑥③ 生活を豊かにするために①・小物作り ② 私たちの衣生活と住生活⑤⑥③								
	あの子のランドセル		A-(1) 自主、自律、自由と責任	「魅力的な提案をしよう」⑤ 「君は「最後の晩餐」を知っているか」④ 「表現のしかたを工夫して書く」⑤					U3「Career Day」⑧ Daily Scene3② Let's Read!「The Carpenter's Gift」④	【保健編】2健康と環境⑦ ③ 交通事故の防止①	③ 生物育成①② ② 生物を育てるための計画と管理③(リフレタス) ② エネルギー変換②③ ① エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③	・日常食の調理 ・安全で安心な住まい ・災害に備えた住まい方 ・快適な住まい方 ・よりよい住生活 ・災害に備えた住まい方の工夫 ・中学生としての自立								
6月	ゴール		B-(8) 友情、信頼	「世界で一番の贈り物 二年一組のお礼め三十五冊 読書案内」③ 「漢詩の風景」③ 「走れメロス」⑥					U2「A Trip to the UK」⑧ Daily Scene2② Daily Scene3② Let's Read!「The Carpenter's Gift」④ U4「Homestay in the United States」⑧ Daily Scene4②	【保健編】2健康と環境⑦ 1 環境の変化と適応能力① 【保健編】2健康と環境⑦ 2 活動に適した環境① 【保健編】2健康と環境⑦ 3 室内の空気の状態① 【保健編】2健康と環境⑦ 4 水の浄化と排水の処理①	③ 生物育成①② ② 生物を育てるための計画と管理③(リフレタス) ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③	「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」④ 「さくら草」 「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」④ 「心の中にきらめいて」 「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」④ 「今日は君のBirthday」 「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」④ 「さくら草」	「寄せの合方」によるリズムアンサンブル							
	宝塚方面行き-西宮北口駅-		C-(10) 遵法精神、公徳心																	
	注文を間違える料理店		B-(9) 相互理解、寛容	「多様な方法で情報を集めよう」⑥ 「話し合って考えを広げよう」⑤ 「漢文の読解力を考える」① 「方言と共通語」②																
7.8月	つなぐ思い出-エルトワール号-		B-(6) 思いやり、感謝	「説明のしかたを工夫する」① 「魅力的な提案をしよう」⑤ 「新しい短歌のために 短歌を味わう」③ 「相手の考えを踏まえて発言する」① 「走れメロス」⑥ 「一年間の学びを振り返ろう」⑥					題材情報 UIFA Friend in a Sister School」⑧ U3「Career Day」⑧ U4「Homestay in the United States」⑧ U5「Universal Design」⑧ U7「The Movie Dolphin Tale」⑧	【保健編】2健康と環境⑦ ③ 生物育成①② ② 生物を育てるための計画と管理③(リフレタス) ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③	① 私たちの食生活⑤⑥③ 調理と食文化②②・日常食の調理 ① 私たちの食生活⑤⑥③ 調理と食文化②② ② 私たちの衣生活と住生活⑤⑥③ 生活を豊かにするために①・小物作り ② 私たちの衣生活と住生活⑤⑥③									
	祭り夜		C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	「新しい短歌のために 短歌を味わう」③ 「世界と比べた日本の地域的特色」① 「方言と共通語」② 「世界と比べた日本の地域的特色」② 「人口の特色」②③ 資源や産業の特色①④ 「地域間の結びつき」④ 「日本の家」⑤ 「世界と比べた日本の地域的特色」① 「自然環境の特色」⑥ 「世界と比べた日本の地域的特色」② 「人口の特色」②③ 資源や産業の特色①④ 「地域間の結びつき」④ 「日本の家」⑤	「4 近世の日本」②③ 「導入」③ 「4 近世の日本」②③ 「1 ヨーロッパ人との出会いと全国統一」④ 「4 近世の日本」②③ 「2 江戸幕府の成立と鎖国」④ 「4 近世の日本」②③ 「3 産業の発達と幕府政治の動き」④ 「4 近世の日本」②③ 「4 近世の日本」②③			UIFA Friend in a Sister School」⑧ U3「Career Day」⑧ U4「Homestay in the United States」⑧ U5「Universal Design」⑧ U7「The Movie Dolphin Tale」⑧	【保健編】2健康と環境⑦ 1 環境の変化と適応能力① 【保健編】2健康と環境⑦ 2 活動に適した環境① 【保健編】2健康と環境⑦ 3 室内の空気の状態① 【保健編】2健康と環境⑦ 4 水の浄化と排水の処理①	③ 生物育成①② ③ 生物を育てるための計画と管理③(リフレタス) ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③	① 私たちの食生活⑤⑥③ 調理と食文化②②・日常食の調理 ① 私たちの食生活⑤⑥③ 調理と食文化②② ② 私たちの衣生活と住生活⑤⑥③ 生活を豊かにするために①・小物作り ② 私たちの衣生活と住生活⑤⑥③	「日本のお土産や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう」② 「日本の郷土芸能」	「リコーダーを演奏しよう」アルトリコーダー LESSON2 アルトリコーダー LESSON3	「手作りを味わう喜び/受けつぎつくる人の姿/木でつくる/金属でつくる」⑥ 「まちを彩るパブリックアート」①						
	白ご飯を目指して一萩野公介		A-(2) 節度、節制	「要点を整理して聞き取る」① 「敬語」①					U4「Homestay in the United States」⑧ U5「Universal Design」⑧ U7「The Movie Dolphin Tale」⑧	【保健編】2健康と環境⑦ 1 環境の変化と適応能力① 【保健編】2健康と環境⑦ 2 活動に適した環境① 【保健編】2健康と環境⑦ 3 室内の空気の状態① 【保健編】2健康と環境⑦ 4 水の浄化と排水の処理①	③ 生物育成①② ③ 生物を育てるための計画と管理③(リフレタス) ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③	① 私たちの食生活⑤⑥③ 調理と食文化②②・日常食の調理 ① 私たちの食生活⑤⑥③ 調理と食文化②② ② 私たちの衣生活と住生活⑤⑥③ 生活を豊かにするために①・小物作り ② 私たちの衣生活と住生活⑤⑥③								
夜は人間以外のもの時間		D-(21) 感動、畏敬の念	「見えないだけ」① 「アイズプラネット」⑤ 「枕草子」③ 「新しい短歌のために 短歌を味わう」③ 「漢詩の風景」③ 「落葉松」①					「地球の大気と気候の変化」②③ 「ダイナミックな森」④ 「嵐川あらし」①	U0											
9月	みんなでとんだ!		B-(8) 友情、信頼	「世界で一番の贈り物 二年一組のお礼め三十五冊 読書案内」③ 「漢詩の風景」③ 「走れメロス」⑥					U2「A Trip to the UK」⑧ Daily Scene2② Daily Scene3② Let's Read!「The Carpenter's Gift」④ U4「Homestay in the United States」⑧ Daily Scene4②	【保健編】2健康と環境⑦ 1 環境の変化と適応能力① 【保健編】2健康と環境⑦ 2 活動に適した環境① 【保健編】2健康と環境⑦ 3 室内の空気の状態① 【保健編】2健康と環境⑦ 4 水の浄化と排水の処理①	③ 生物育成①② ② 生物を育てるための計画と管理③(リフレタス) ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③ ② エネルギー変換②③	① 私たちの食生活⑤⑥③ 調理と食文化②②・日常食の調理 ① 私たちの食生活⑤⑥③ 調理と食文化②② ② 私たちの衣生活と住生活⑤⑥③ 生活を豊かにするために①・小物作り ② 私たちの衣生活と住生活⑤⑥③	「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」④ 「さくら草」 「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」④ 「心の中にきらめいて」 「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」④ 「今日は君のBirthday」 「仲間とともに、表情豊かに合唱しよう」④ 「さくら草」	「寄せの合方」によるリズムアンサンブル						
	今度は私の番だ		C-(12) 社会参画、公共の精神	「魅力的な提案をしよう」⑤ 「小さな町のラジオ発」①					U3「Career Day」⑧	【保健編】2健康と環境⑦ ④ 犯罪被害の防止①										
	私のせいじゃない		C-(11) 公正、公平、社会正義	「走れメロス」⑥					UIFA Friend in a Sister School」⑧											
	闇の中の炎		C-(10) 遵法精神、公徳心																	

中学校2学年 年間カリキュラム

※各教科の○内は配当時間案

実施月	道徳		国語	社会(地理)	社会(歴史)	数学	理科	英語	保健体育	技術・家庭(技術)	技術・家庭(家庭)	音楽(一般)	音楽(器楽)	美術	学校行事	特別活動	総合的な学習の時間	
	東書	項目/教科																光村
10月		「いいね」のために?	C-(10) 道法精神、公德心															
		左手でつかんだ音楽	A-(4) 希望と勇気、克己と強い意志	「アイスプラネット」⑤ 「世界で一番の贈り物 二年一組のお薦め三十五冊 読書案内」③		「5 開国と近代日本の歩み」② 「明治維新」② 「5 開国と近代日本の歩み」③ 「日清・日露戦争と近代産業」⑤											地方秋季中体連総合体育大会A-(4) B-(6)	
		私は十四歳	A-(3) 向上心、個性の伸長	「一年間の学びを振り返ろう」⑥														車椅子バスケットボール体験 C-(12)
		はじめての練習試合	B-(9) 相互理解、寛容	「多様な方法で情報を集めよう」⑥ 「話し合っって考えを広げよう」⑤ 「意見文の採得方を考える」① 「方言と共通語」②														
11月		四十七年に感謝をこめて	C-(15) よりよい学校生活、集団生活の充実	「表現のしかたを工夫して書こう」⑤ 「1 九州地方」⑤ 「2 中国・四国地方」⑤ 「3 近畿地方」⑤ 「4 中部地方」⑤ 「5 関東地方」⑤ 「6 東北地方」⑤		「4 近世の日本」④ 「3 産業の発達と幕府政治の動き」⑦												
		緑に	D-(19) 生命の尊さ	「生物が記録する科学-バイオロギングの可能性」④ 「顕微鏡」③ 「走れメロス」⑥		「動物の生活と生物の進化」⑧ 「動物とは何だろう 動物とはどのような生物だろう」 「動物の生活と生物の進化」⑧ 「1 生物の体と細胞」⑤ 「動物の生活と生物の進化」⑧ 「2 生命を維持するはたらき」⑩ 「動物のはたらきと生物の進化」⑨												
		奇跡の一週間	D-(19) 生命の尊さ	「生物が記録する科学-バイオロギングの可能性」④ 「顕微鏡」③ 「走れメロス」⑥		「動物の生活と生物の進化」⑧ 「動物とは何だろう 動物とはどのような生物だろう」 「動物の生活と生物の進化」⑧ 「1 生物の体と細胞」⑤ 「動物の生活と生物の進化」⑧ 「2 生命を維持するはたらき」⑩ 「動物のはたらきと生物の進化」⑨												
	風の後に	B-(8) 友情、信頼	「世界で一番の贈り物 二年一組のお薦め三十五冊 読書案内」③ 「漢詩の風景」③ 「走れメロス」⑥															
12月		金福様さんのこと	A-(1) 自主、自律、自由と責任	「魅力的な提案をしよう」⑤ 「君は「最後の晩餐」を知っているか」④ 「表現のしかたを工夫して書こう」⑤														
		本当の私	D-(22) よりよく生きる喜び	「科学はあなたの中にある」③														
		自分を信じて生きるとは...	D-(22) よりよく生きる喜び	「科学はあなたの中にある」③														
1月		普通バファーマスの挑戦	C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	「見えないだけ」① 「アイスプラネット」⑤ 「裏表を整理して聞き取る」① 「数学」③ 「多様な方法で情報を集めよう」⑥ 「熟語の構成」② 「生物が記録する科学-バイオロギング」⑤	「1 日本の姿」⑤ 「2 世界と比べた日本の地域的特色」⑥ 「1 自然環境の特色」⑥ 「2 世界と比べた日本の地域的特色」⑥ 「2 人口の特色」② 「3 資源や産業の特色」④ 「4 地域間の結びつきの特色」④	「4 近世の日本」④ 「1 導入」① 「2 世界と比べた日本の地域的特色」⑥ 「との出会いと全国統一」⑦ 「2 江戸幕府の成立と鎖国」④ 「4 近世の日本」④ 「3 産業の発達と幕府政治の動き」⑦												
		心に寄りそう	B-(6) 思いやり、感謝	「説明のしかたを工夫する」① 「魅力的な提案をしよう」⑤ 「新しい短歌のために 短歌を味わう」③ 「相手の考えを踏まえて発言する」① 「走れメロス」⑥ 「一年間の学びを振り返ろう」⑥														
2月		六千人の命のピザ	C-(18) 国際理解、国際貢献	「1 日本の姿」⑤ 「2 世界と比べた日本の地域的特色」⑥ 「1 自然環境の特色」⑥ 「2 世界と比べた日本の地域的特色」⑥ 「2 人口の特色」② 「3 資源や産業の特色」④ 「4 地域間の結びつきの特色」④	「4 近世の日本」④ 「1 導入」① 「2 世界と比べた日本の地域的特色」⑥ 「との出会いと全国統一」⑦ 「2 江戸幕府の成立と鎖国」④ 「4 近世の日本」④ 「3 産業の発達と幕府政治の動き」⑦													
		愛	B-(6) 思いやり、感謝	「説明のしかたを工夫する」① 「魅力的な提案をしよう」⑤ 「新しい短歌のために 短歌を味わう」③ 「相手の考えを踏まえて発言する」① 「走れメロス」⑥ 「一年間の学びを振り返ろう」⑥														
		冬の使者「マガン」	D-(20) 自然愛護	「1 日本の姿」⑤ 「2 世界と比べた日本の地域的特色」⑥ 「1 自然環境の特色」⑥ 「2 世界と比べた日本の地域的特色」⑥ 「2 人口の特色」② 「3 資源や産業の特色」④ 「4 地域間の結びつきの特色」④	「4 近世の日本」④ 「1 導入」① 「2 世界と比べた日本の地域的特色」⑥ 「との出会いと全国統一」⑦ 「2 江戸幕府の成立と鎖国」④ 「4 近世の日本」④ 「3 産業の発達と幕府政治の動き」⑦													
3月		ごめんね、おばあちゃん	C-(14) 家族愛、家庭生活の充実	「富士山」⑤ 「字のない東書」③														
		よりよいものを求めて-上山英一郎-	A-(5) 真理の探求、創造	「多様な方法で情報を集めよう」⑥ 「生物が記録する科学-バイオロギングの可能性」④ 「メディアと上手に付き合うために」② 「漢詩の風景」③ 「根拠を明確にして書こう」③ 「科学はあなたの中にある」③	「1 式の計算」⑩ 「1 式の計算」⑩ 「2 文字式の利用」⑩ 「1 式の計算」⑩ 「2 文字式の利用」⑩ 「基本のため」⑩ 「算数問題 千恵万寿」⑩ 「2 連立方程式」⑩ 「1 連立方程式」⑩	「化学変化と原子・分子」⑩ 「銀をつくる粒子」⑩ 「化学変化と原子・分子」⑩ 「1 物質の成り立ち」⑩ 「化学変化と原子・分子」⑩ 「2 物質を表す記号」④ 「化学変化と原子・分子」⑩ 「3 さまざまな物質」⑩												

②異学年との交流

学年の壁を越えて、様々な取組を行う中で、内容項目「C主として集団や社会との関わりに関すること」、特に「(1) 2) 社会参画、公共の精神、(13) 勤労、(15) よりよい学校生活、集団生活の充実」を意識しながら活動することができた。

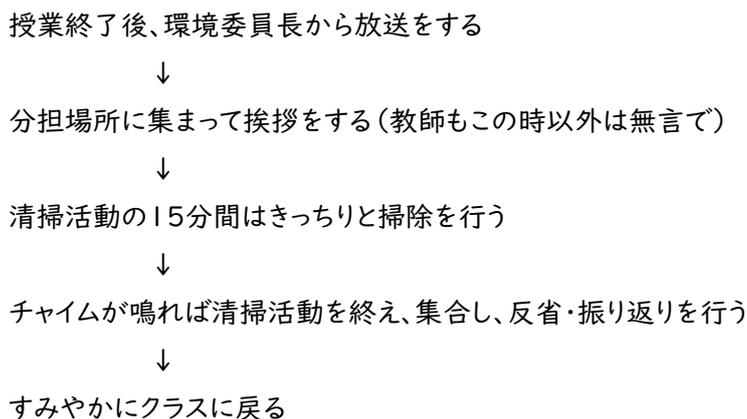
【無言清掃】

無言清掃は、2010年度から本校で進めている取組である。この無言清掃を通じて、「心を育てること」、「感謝の気持ちで素直に人と接することができるようになること」を目的としている。

《無言清掃、心の深まりの段階》

- | | |
|---------------|-------------------|
| ① がまん清掃(無言) | 意志力を鍛え、自由の意味を理解する |
| ② みつけ清掃(すみずみ) | 協調性の精神を学ぶ |
| ③ 親切清掃(助け合い) | 創造力を発揮する |
| ④ 感謝清掃(心の内から) | 感謝の気持ちをもつ |
| ⑤ 正直清掃(心の内から) | 裏表のない人間に |

無言清掃の流れ



縦割りで班を作り、他学年の生徒と共に清掃活動を行うことで、3年生はリーダーシップを発揮しようと努力し、2年生は1年生の良き見本となるように努め、1年生は上級生の清掃に対する姿勢を学ぶことができ、みんなが熱心に清掃に取り組んでいる。

③道徳科と体験活動との関連行事(全体)

ア 体育祭

体育祭に向けて、内容項目「A主として自分自身に関すること(2)節度、節制、(4)希望と勇気、克己と強い意志」、「C主として集団や社会との関わりに関すること(10)遵法精神、公德心、(15)よりよい学校生活、集団生活の充実」を意識することができる。

企画や運営から始まり、秩序と活気のある創造的な体育祭にしようとみんなで協力し、生徒たちは、集団の中で集団の一員としての自覚をもち、自分のなすべきことを考えて、自己の役割の自覚と責任を果たそうと努力していた。そのことが集団の向上だけでなく、自分自身の成長にもつながり、自分自身に誇りと自信をもつことができた。



イ 校内合唱大会

校内合唱大会を通して、内容項目「B主として人との関わりに関すること(6)思いやり、感謝、(8)友情、信頼」、内容項目「C主として集団や社会との関わりに関すること(15)よりよい学校生活、集団生活の充実」を意識することができる。クラスで歌声やハーモニーを合わせることは相手のことを感じることであり、自己中心的な考えや行動が減少し、クラスが一体となる。そしてこの一体感を作り上げている集団に自分自身がいると自覚することができた。



ウ 地域×防災 ワークショップ —中学生と地域住民でくらしをみつめる—

加茂地区、仁義地区の住民の方々と共に防災学習「地域×防災 ワークショップ」を多くの団体の方々の協力を得て実施した。これは、内容項目「C主として集団や社会との関わりに関すること」を意識することができる。海南省危機管理課と企画したもので、南海トラフ地震や豪雨に備え、地域住民と生徒が共に防災について考える機会を設けることで、地域防災力を強化することがねらいである。自分たちの知らなかったことを地域のみなさんから聞き、地域のことをより詳しく知る機会になり、また防災について一緒に考えたことで、災害時には地域のみなさんと協力しようとする意欲をもつことができた。



エ 先輩に話を聞く会

地域人材を活用した教育講演会を実施している。毎年、講演内容は異なるが、昨年度は内容項目「A主として自分自身に関すること(4)希望と勇気、克己と強い意志」に関する講演であった。生徒たちからは「目標達成に向けて、苦しい時は一度離れるのも大事」という発言や、「一度離れても、やっぱりやり遂げることが大事」という発言があり、自分の目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもって、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げることについて考えることができた。



④道徳科と体験活動との関連行事(学年)

ア 地域学習 1 年生

「地域学習」は、内容項目「C 主として集団や社会との関わりに関すること(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」を意識して取り組んでいる。

地域学習の一環として、社会福祉協議会と連携し、「地域の方の仕事や生活について話を聞き、自分自身が暮らす地域に興味・関心をもつ」ことを目的としている。自分が当たり前と思っているものの中に、多くの地域の人たちのたゆまない努力や思いによって受け継がれているものがあることに気づくことができた。



イ 産業学習 1 年生

産業学習では、内容項目「C主として集団や社会との関わりに関すること(13) 勤労、(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」を意識して取り組んでいる。

「海南市の産業」について、「ハローワークかいなん」の方から「働くということ」について、株式会社大和化学工業所代表取締役の方から「将来一人前の社会人になる

ために、今、感謝の心をもつ、掃除を真剣にする、挨拶を大きな声で丁寧にする、人の嫌がることを言わない・やらない、「ごめんなさい」が言えることを大切に最高の学級をつくってほしい」と話があった。生徒たちは、誰かの役に立つこと、地域社会のために貢献することが働くことの誇りになると気づき、将来の生き方について考えを深めることができた。



ウ 職場体験 2 年生

職場体験は、内容項目「A主として自分自身に関すること(1) 自主、自律、自由と責任」、「B主として人との関わりに関すること(6) 思いやり、感謝、(7) 礼儀」、「C主として集団や社会との関わりに関すること(13) 勤労」など、多くの道徳性を育むことができる体験である。「働く」ことを体験することで、自分を見つめ直し、新たな自分の発見に繋がる。

実施前には、内容項目「C主として集団や社会との関わりに関すること(13) 勤労」から、「宇宙人」という教材を用いて、働くうえで大切にすべきことについて考えた。「自分が働くときには誰かに頼るばかりではなく、自分からやりたいことに挑戦していきたい」や「若いうちにいろんな体験をして、自分に合う職業を見つけていきたい」など、仕事を選ぶうえで大切にすべき考えを深めることができた。



エ 障害者体験（高齢者疑似体験、ボッチャ体験、車イスバスケットボール）2年生

高齢者疑似体験、ボッチャ体験は、内容項目「B主として人との関わりに関すること(6)思いやり、感謝」を意識して取り組んでいる。高齢者疑似体験では、ゴーグルやオモリを身に付けて、擬似的に高齢者の目や身体の不自由さを実感した。障害による垣根を越えて誰でもできるスポーツ、ボッチャの体験では、心身に障害があっても、その人に応じた合理的配慮を行えば、老若男女共に楽しめることを学び、障害のある方について理解を深めることができた。



オ 修学旅行 3年生

修学旅行は、内容項目「A主として自分自身に関すること(1)自主、自律、自由と責任」、「B主として人との関わりに関すること(8)友情・信頼」、「C主として集団や社会との関わりに関すること(15)よりよい学校生活、集団生活の充実」を意識して取り組んでいる。



生徒たちは、修学旅行を通して、仲間と協力することの素晴らしさや集団の中で自分の役割を果たすことの喜びなどを感じることができた。

カ 思春期体験学習 3年生

思春期体験学習は、内容項目「D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること(19)生命の尊さ」を意識して取り組んでいる。

助産師さんからは、「命の神秘さと大切さ」「出産や思春期の心と身体の発達」について、保健師さんからは、「赤ちゃんの成長」についてのお話を聞かせていただいた。

さらに、赤ちゃん人形抱っこ体験と妊婦体験を行い、妊婦(母親)の大変さを、身をもって経験した。



⑤道徳的実践の場とした委員会活動の充実

下津第二中学校では、学級委員会、生活委員会、体育委員会、保健委員会、環境委員会、安全委員会、福祉委員会、文化図書委員会の8つの専門委員会があり、学級委員会は生徒会執行部（会長、男子副会長、女子副会長、書記）、専門委員会はそれぞれの専門委員長を中心に、内容項目「C主として集団や社会との関わりに関すること（15）よりよい学校生活、集団生活の充実」を意識した特色ある委員会活動を行っている。

各専門委員会は、1年生から3年生までのすべての生徒が所属し、学年を超えた交流の場となっている。また、学年の違う生徒たちがよりよい学校生活の創造を目指して共に考え、共に活動する委員会活動は、内容項目「A主として自分自身に関すること（1）自主、自律、自由と責任」、「B主として人との関わりに関すること（9）相互理解、寛容」を意識したものでもあり、どの学年の生徒にとっても、大きく成長する機会となっている。

ア 本校の生徒会活動について

・目標

自主性・創造性を体験的に学ばせ、さらに民主的な集団活動を構築しようとする生徒を育てる。

・目標達成のために

学校生活の上で生じる問題を常に自分の問題として捉えることができるように、同じく、学級内の問題を学年・全校で考え取り組むことのできるよう組織を構成し、活性化させる。専門委員会・執行部会・学級委員会を定期的開催し、それらの問題解決に当たる。

・専門委員会の充実

計画的な活動、全校生徒縦割りの構成員による活動を通して、生徒間の連帯感を育てることを目指す。

イ 各専門委員会の活動について

・学級委員会

朝、学校玄関前に立つあいさつ活動を中心に、学校周りの清掃やベル着チェックなどを行っている。

・生活委員会

整理整頓を呼びかけ、ロッカーチェックなどを行っている。

・体育委員会

スポーツに関する新聞を発行するほか、グラウンドの草抜きなどの環境整備を行っている。

・保健委員会

感染症対策を呼びかけ、ハンカチチェックや爪チェックなどを行っている。

・環境委員会

環境に関するポスターの製作や朝掃除、全校清掃時の見回りなどを行っている。

・安全委員会

交通安全アンケートの実施や自転車の鍵抜きチェックなどを行っている。

・福祉委員会

全校生徒に呼びかけ、テトラパックの回収、募金活動などを行っている。

・文化図書委員会

図書の貸し出し作業や、様々な文化を紹介するポスターの作成などを行っている。

学級委員会によるあいさつ活動



生活委員会によるロッカーチェック



体育委員会による全校草抜き活動



保健委員会による爪チェック



環境委員会による朝掃除



安全委員会による自転車の鍵抜きチェック



福祉委員会による募金活動



文化図書委員会による図書の貸出作業

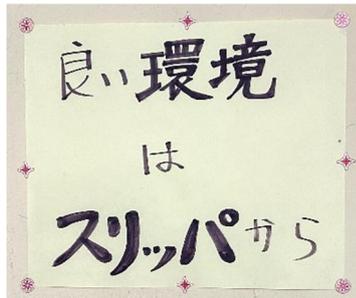


⑥道徳性を養う環境整備

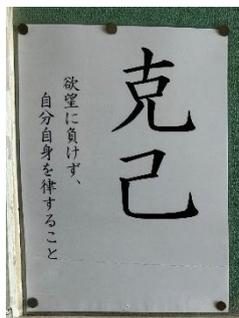
「環境が人を育てる」と言われるように、道徳性を養い、豊かな心を育てるため、教室だけでなく、生徒たちの目に触れる廊下やトイレなどに掲示物の工夫を施している。

【内容項目 A 主として自分自身に関すること】

A(2) 節度、節制

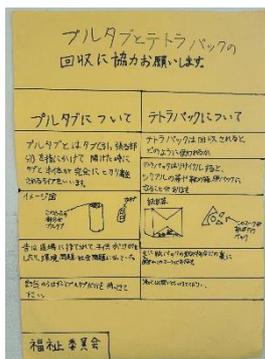
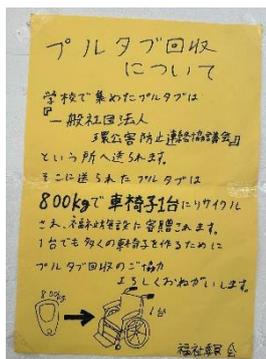


A(4) 希望と勇気, 克己と強い意志



【内容項目 C 主として集団や社会との関わりに関すること】

C(12) 社会参画, 公共の精神



福祉委員会が作成したプルタブ、テトラパックの回収協力を求めるポスター。

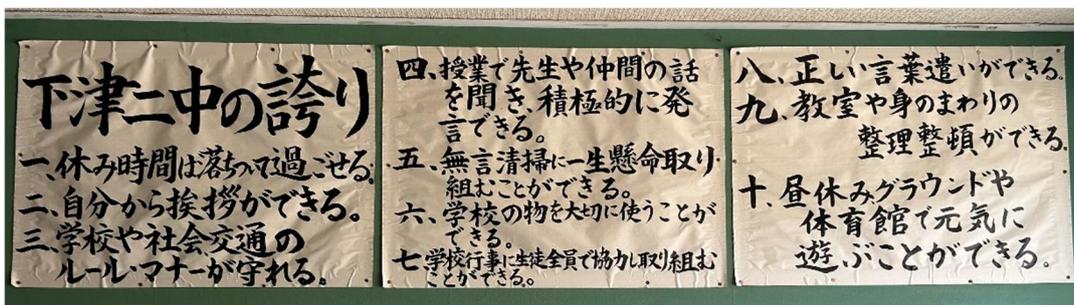
プルタブは 8000 kg で車椅子 1 台になる。

C(13) 勤労



2年生の教室前には職場体験についてのパワーポイントの資料が掲示されており、様々な業種があることを知ることが出来る。

C(14) よりよい学校生活、集団生活の充実



【内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること】

D(19) 生命の尊さ

